

令和2年度  
劇場・音楽堂等機能強化推進事業  
(共同制作支援事業)  
成果報告書

事業（公演）名	共同制作オペラ「禅～ZEN～」(仮称)
代表団体名	公益財団法人石川県音楽文化振興事業団
劇場・音楽堂等の名	金沢歌劇座、香川県県民ホールレクザムホール、高崎芸術劇場
実演芸術団体等の名	オーケストラ・アンサンブル金沢、瀬戸フィルハーモニー交響楽団
内定額	36,375 (千円)

# 1. 事業概要

## (1) 事業の概要

趣旨・目的、ニーズ等
<p>日本が世界に誇る偉人、鈴木大拙（思想家）と西田幾多郎（哲学者）を取り上げて、「禅の心」をモチーフに、世界に日本文化を発信する新作オペラとして、生きることの意味や希望・光を音楽を通じて改めて問いかけることを大きなテーマとする。これまでオーケストラ・アンサンブル金沢（石川県音楽文化振興事業団）と金沢歌劇座（金沢芸術創造財団）は共同制作により、当地の文豪泉鏡花を取り上げ、新作オペラ「高野聖」「滝の白糸」の制作に取り組んだほか、東京芸術劇場と共に共同制作オペラ「フィガロの結婚」（野田秀樹演出）、オペラ「蝶々夫人」（笈田ヨシ演出）等の新演出に深く携わった経験があり、改めて日本だからこそ発信できる歓びを、新作を通してここに発信するものである。また、日本の伝統文化や日本が持ち続けている普遍性をもとに創り上げる新しい文化が注目されており、2021年に開催される東京オリンピック・パラリンピックにおいても、さらに日本の伝統と新たな文化発信がより期待されている。世界では「禅」が、多くの人々の心に響き、今や鈴木大拙館（金沢市）は連日多くの外国人観光客が訪れる国際的思想と文化の中心となっており、この新作オペラ「禅～ZEN～」もまさに、改めて日本人が残した素晴らしい思想や文化を広く伝えていくことで、国際文化交流の円滑化と理解促進に繋がるものである。このオペラでは、広報や観劇には多言語化を充実させ、各劇場でインバウンドに対する環境整備に努めるなど、さらに開かれた劇場として創造発信の場となるよう取り組む。</p>
実施日時・実施会場（所在地）・実施回数
<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、オペラ公演実施ができなかった。できなかった。</p> <p>&lt;予定していた公演&gt;</p> <p>2020年、2021年（3都市3公演）</p> <p>(1) 2020年11月22日（日）金沢歌劇座 主催：（公財）金沢芸術創造財団、（公財）石川県音楽文化振興事業団</p> <p>(2) 2021年2月7日（日）香川県県民ホールレクザムホール 主催：香川県県民ホールレクザムホール</p> <p>(3) 2021年2月21日（日）高崎芸術劇場 主催：高崎市、（公財）高崎財団</p> <p>※金沢では中止に伴い、上記公演予定日に、これまでに制作してきたオペラの一部をハイライトとして紹介するコンサートを実施し、次年度延期に向けての広報を行った。</p>
演目・曲目、幕構成、主な出演者、主なスタッフ、あらすじ等
<p>予定していた内容</p> <p>オペラ「禅～ZEN～」(仮称)</p> <p>作曲：渡辺俊幸 台本：松田章一 翻訳：家田 淳</p> <p>指揮：垣内悠希、ヘンリック・シェーファー 演出：三浦安浩</p> <p>副指揮：辻 博之 コレペティトール：服部容子 照明：矢口雅敏 音響：金沢舞台 衣装：下斗米雪子</p> <p>美術：松生紘子 大道具：金沢舞台 ヘアメイク：濱野由美子 舞台監督：村田健輔（ザ・スタッフ）</p> <p>プロデューサー：山田正幸 プロダクションマネージャー：牧野豪（金沢芸術創造財団）</p> <p>鈴木大拙：中鉢聡、伊藤達人 妻ビアトリス：コロン・えりか 母エマ：山下牧子、鳥木弥生</p> <p>西田幾多郎：今井俊介 釈宗演：高橋洋介 乃木希典：原田勇雅</p> <p>合唱：金沢オペラ合唱団、高松オペラ合唱団、高崎オペラ合唱団</p> <p>管弦楽：オーケストラ・アンサンブル金沢、瀬戸フィルハーモニー交響楽団</p>

## 事業（公演）の特徴、鑑賞者利用者拡大のための工夫点又は戦略等

### 予定していた内容

- ・大都市に頼らず、地域間で協力し合い、これからの担い手を育成し、地域文化を発信する劇場・音楽堂とする。
- ・国際的にも注目を集める「禅」というテーマを取り上げることによって、国境を越え、多種多様で国際的な文化交流へと繋げる。
- ・各地域で音楽活動を実施する合唱団がオペラに参加することで、地域文化に根差した活動が活性化され、劇場と地域の人々との交流がさらに深まることが期待できる。未来の劇場の大きな意味での支援者作りとなる。
- ・地方のオーケストラがオペラに参加する機会が少なく、また経済的にも難しい中、劇場と各オーケストラが連携してオペラを上演することで、地方でのオペラ鑑賞の機会がもたらされる。さらに劇場と地方オーケストラの活性化にも繋がり、将来的な劇場の独自性豊かな企画にも繋がる。また、新規に香川県県民ホールと瀬戸フィルハーモニー交響楽団がオペラに参加する等、事業参加が広がった。
- ・誰もがオペラ鑑賞を楽しむことができるように、広報物をはじめ字幕や案内表示の多言語化とバリアフリーの一層の充実を図り、障がい者や高齢者にも配慮し、また歌手たちが稽古期間中に施設や学校を訪問し、このオペラの広報活動に積極的に参加する。

### 共同制作を行う劇場・音楽堂等、実演芸術団体

#### 予定していた団体

- 金沢歌劇座（公益財団法人金沢芸樹創造財団）
- 香川県県民ホール レクザムホール（穴吹エンタープライズ株式会社）
- 高崎芸術劇場（公益財団法人高崎財団）
- オーケストラ・アンサンブル金沢（公益財団法人石川県音楽文化振興事業団）
- 瀬戸フィルハーモニー交響楽団（公益財団法人瀬戸フィルハーモニー交響楽団）

### 共催者・協賛者・後援者・関係機関

#### 予定していた団体

- ・（公社）全国公立文化施設協会
- ・（公社）日本オーケストラ連盟
- ・劇場・音楽堂等連絡協議会

## (2) 事業の目標値、実績値

実施会場	実施日程	入場者・参加者数	
		目標値	実績値
金沢歌劇座	2020年11月22日(日)	目標値	1,200
		実績値	(中止)※
香川県県民ホールレクザムホール	2021年2月7日(日)	目標値	600
		実績値	(中止)※
高崎芸術劇場	2021年2月21日(日)	目標値	1,200
		実績値	(中止)※
		目標値	
		実績値	
		目標値	
		実績値	

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

## 2. 自己評価

### (1) 妥当性

#### 自己評価

共同制作の意図や役割分担など事業が適切に組み立てられていた（と認められる）か。

これまで多くの音楽（オペラ）制作に携わってきたオーケストラ・アンサンブル金沢（石川県音楽文化振興事業団）と金沢歌劇座（金沢芸術創造財団）が中心となり、これまでの経験や全国各地との文化交流による繋がりを活かし、新作オペラ制作に臨むこととなったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、オペラ公演を実施することができなかった。

しかし、制作に向けて共同制作館で協議し、様々な意見交換を行い、実施計画を行ったことで、上演に向けての準備や各プラン作成に携わり、作曲・台本及び翻訳についても互いに理解を深め、新しいオペラを制作することに対して意欲的に協議し合うことができた。

また、各地域における音楽文化の活動状況や各地域のアーティストの存在、合唱団の活動状況、音楽教育の取り組み等をお互いに知る機会となり、次年度及び今後の連携事業に向けて、目標や指針を共有し、話し合うことができた。

助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか

今回取り上げる予定としていた「禅」は、日本が世界に誇る文化の一つであり、また、「禅」の心を切り開き世界に知られた思想家・鈴木大拙、そして同じく世界に西田哲学を確立させた哲学者・西田幾多郎という二人の人物を取り上げることによって、改めて日本文化を見つめ直し、オペラを通じて世界に発信する試みは、文化的に大きく評価される着眼点だと確信している。

また、その人物や日本文化をオペラに取り上げることによって、子供たちや若い世代に、世界中から共感を得る偉人の歴史や活動を広く知ってもらう機会をつくることにも繋がり、同時にそのことが劇場の大きな使命でもあることから、社会的な意義を強く感じている。

また、日本文化を海外に向けて発信することによって、海外観光客の集客や、さらには海外の劇場での再演等、このオペラを通じてグローバルな文化活動を継続して行うことは、経済的な効果や意義があると感じている。

しかし、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、オペラ公演を実施することができなかった。

公演はやむなく中止となったが、新作の作曲、台本作成及び翻訳等は進めることができ、その経過において、この作品は持つ発信力、そして国内外に広く広げるべき作品であることを改めて確認することができた。

## (2) 有効性

### 自己評価

目標を達成したか。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、オペラ公演実施はできなかったが、制作に取り組んだ中で、下記の目標を達成することができた。

- ・日本が世界に誇る禅の心と日本古来の文化を改めて見つめ直し、日本が世界に誇る文化の発掘と再発見の機会を作り、そこに人類の生きる喜びと光を見出すことを大きな目標として掲げ、その目標に沿って、作曲家、台本作家、翻訳家、演出家が何度も協議を重ね、意見交換を行い、また、各館の制作スタッフがその想いを共有することができた。
- ・制作途中ではあったが、地方の劇場とオーケストラが協力し、アイデアを出し合って新作オペラの制作を開始することができ、お互いの劇場や各地域の文化活動状況等を知り、学ぶことができた。また、地域文化の創造と再生を通じて活力ある地域社会を構築するためには何をすべきかを話し合うことができ、将来のオペラ実施に向けて方向性を見出すことができた。
- ・共同制作を通じて各劇場が役割を分担し、責任を持って実施することを計画し、次年度のオペラ実施に向けて確認することができた。
- ・世界に共感を得る人物と内容を取り上げることで、日本伝統の禅を通じて文化的多様性や相互理解を進め、世界との友好・交流を深める機会とすることを目標としていた中で、今回は上演できなかったが、制作段階で指揮者をはじめとする海外アーティストと、この取り組みや内容について互いの理解を深め、確認し合うことができた。
- ・多くの音楽イベントが大都市での制作に偏り、頼りがちな中、地方が知恵を出し合って新作オペラ制作に挑戦することで劇場の活性化を図るとともに、ホール運営の担い手を育て、地域の文化力を高めるきっかけとすることができたと感じている。

### (3) 効率性

#### 自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んだか。

アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んだか。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、オペラ公演実施ができなかったが、当初の計画通り、台本制作・作曲・翻訳は計画通り進めることができた。

また、リハーサルスケジュール、広報計画等も共同制作館で協議を重ねて組み立てることができた。

オペラ公演は実施できなかったが、別の機会に「オペラハイライト公演」を実施し、よりオペラを身近に親しんでいただくための取り組みとして、これまでに共同制作オペラで実施した「滝の白糸」をハイライトで演奏し、併せて新作オペラ「禪」の一部も紹介して、今後の上演に向けて広報活動を行うことができた。そして新作オペラに対して、聴衆により興味を持っていただくための一歩となった。

また、作品の一部を演奏することにより、アーティストやスタッフも新作上演に向けて作品やテーマをより深く知るきっかけとなり、日本文化発信への想いを共有することができた。

#### (4) 創造性

##### 自己評価

我が国の実演芸術水準を向上する牽引力となることが期待できる国際的水準の公演であった（と認められる）か。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、オペラ公演実施ができなかったが、日本が世界に誇る禅の心をテーマとしたこと、そして世界に確固たる大きな存在意義を遺した、日本が誇る偉人である鈴木大拙・西田幾多郎の二人の人物を取り上げることは、国際的にも高い評価と水準の内容である。

また、故岩城宏之創設音楽監督のもと、多くの現代曲初演に取り組んだオーケストラ・アンサンブル金沢が新作初演を担うこと、また、指揮者にスウェーデンの劇場の首席指揮者を務めるヘンリック・シェーファー氏を起用すること、国内で活躍するオペラ歌手が集結して実施することは、我が国の実演芸術水準を向上する牽引力となることが期待できている。特に、ヘンリック・シェーファー氏が指揮をすることにより、海外でこのオペラを再演する可能性が生まれるきっかけとなる。

また、このオペラ公演の壮大なテーマと目標に掲げていた「日本文化発信の新しい試みによって、禅の心と日本古来の文化を改めて見つめ直し、日本が世界に誇る文化の発掘と再発見の機会を作り、そこに人類の生きる喜びと光を見出す」ことは、日本文化をオペラを通じて世界に発信する大きな意義と役割を担っている。



#### (4) 創造性

##### 自己評価

事業の実施によって、当該劇場・音楽堂等の国内外での評価の向上につながった（と認められる）か。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、オペラ公演実施ができなかったが、今回新作オペラ制作に取り組むことによって、地域劇場間の事業連携や交流の機会となった。

多くの音楽イベントが大都市での制作に偏り、頼りがちな中、地方の劇場間で知恵を出し合って新作オペラ制作に挑戦することで、劇場の活性化に繋がり、全国に発信することができた。

また、各劇場のスタッフが連携してオペラ制作プランを組み立て、経験することで、新しく関わった劇場のスタッフもオペラ制作のノウハウを少しでも学ぶことができ、地域の文化力を高めるきっかけになり、評価の向上に繋がった。

また、国内だけでなく、劇場スタッフが海外に目を向けるきっかけとなり、今回はオペラ公演が実施できなかった中ではあるが、指揮者シェーファー氏と共に制作をスタートする中で、大都市以外の地域の劇場の取り組みを発信することによって劇場の国内外へのPRとなり、海外の劇場で活躍するシェーファー氏がこの取り組みに賛同し、参加したことは、海外からの評価の向上に繋がったと感じている。